

～企業の発展・存続をあらゆる角度からサポートします!!～



税理士法人 飛驒会計事務所

あおぞら



そめつけからくさもんおおざら 染付唐草紋大皿、
そめあかきっかもんはち 染赤菊花紋鉢 (株式会社 芳国舎洪草製陶所 所蔵)



NO.47



税理士法人 飛驒会計事務所

〒506-0025 岐阜県高山市天満町4丁目65番地

TEL<0577>32-0979(代)

FAX<0577>33-0917

Homepage <http://www.hida-kaikei.com>

Email:takayama@hida-kaikei.com

2023.1.発行 / 税理士法人飛驒会計事務所CS委員会

二〇二三年とインボイス制度導入

税理士法人 飛騨会計事務所 所長 青山 真琴

I はじめに

新年を寿ぎ、謹んでお慶びの言葉を申し上げます。顧問先各位には日頃よりご愛顧賜りまして心よりお礼申し上げます。

II 二〇二三年の景気情況

昨年度を振り返りますと、ロシアによるウクライナ侵攻が勃発、新型コロナウイルス感染症終息が不透明、円安と飼料・肥料の高騰に依る物価高の進行と多くの事象が発生して、世界景気を「悪化」させました。

国内においては、半導体の調達困難が極め、あらゆる製品の製造に影響が及ぼされました。最近では半導体全体の逼迫は緩んだものの一部旧世代品はなお足りず、半導体を使用した部品や製品の供給制約は続いています。特に自動車用、産業機械用は、供給量が需要に追いつくのが二十四年になると言われています。こうした状況下で、①調達先の多様化②調達契約の長期化③在庫の積み増しを検討又は実施している様です。場合によっては半導体メーカーは、半導体の国産化を増やす方向で対応するケースもあります。物価高の要因としては原材料、燃料及び人件費のコスト上昇ですが、企業

努力等でコストを抑えるにも限界があるので、コスト上昇分を取引価格に反映する必要があります。エネルギーや食料の価格高騰が続いて、立場の弱い下請企業などの中小企業はコスト上昇分について価格転嫁を要請しにくく、物価上昇面で経営が圧迫されやすいと言えます。

物価高を受けて国内企業では賃金増の動きが相次いでいます。大手企業や業績好調の企業であれば、賃金を引き上げる事も出来ずし、合せて人材の確保が実施可能です。中小企業においては賃上げは大変大きな決断と努力が必要となります。若手の人材確保と言いうよりも、現在採用している社員とその家族の生活を保障する上で、少なくとも物価上昇分を賃上げする事が必然となってきました。企業にとつては、物価高によるコスト上昇と従業員の給料アップの二重のコスト増の要因が経営環境を圧迫してきています。

III 二〇二三年の見通しと

インボイス制度対応

最良のシナリオとしては、ウクライナ侵攻が終結、コロナ感染終息、円安の反転、物価高の沈静によって世界及び国内の景気が活性化する事だと思

います。全ての要因が即座に解決するとは想像できませんので、暫くは厳しい経営環境が続く事を前提として、企業経営を検討せざるを得ません。

弊事務所が最も危惧している事項として、今年度十月一日より実施されます「消費税込インボイス制度」の導入についてです。顧問先企業におかれましては、既に、「適格請求書発行事業者」の登録申請をほぼ完了していると思います。（弊事務所登録代行済み）

インボイス制度導入後、「適格請求書発行事業者」は請求書等の記載要件が増えるとともに、適格請求書の保存が必要になるなど、さまざまな義務が課せられます。

具体的には、顧問先様に対して個別にその対応につきまして事務所担当者よりご説明させていただいてるところです。

A、課税事業者の場合

自社発行の請求書等が適格請求書の記載事項を満たしているかの確認をして下さい。得意先及び仕入先に対して、取引先毎に自社が受け渡している書類のうち、インボイスに該当する書面（請求書等）は何があるのかを把握しておくと良いでしょう。

イ、免税事業者の場合

免税事業者である事業主の場合につきましましては、「適格請求書等」を発行するためには課税事業者になる必要があります。「適格請求書等」を発行で

きないと、課税事業者の取引先から消費税分の値引を要求されたり、取引が見直されたりする懸念があります。課税事業者を選択した場合のメリット及びデメリットを十分に理解した上で、課税事業者を選択するかどうか検討して下さい。

ウ、経過措置

「適格請求書等保存方式」の導入から六年間は、免税事業者等からの課税仕入であっても、仕入税額相当額の一定割合を仕入税額とみなして控除できる経過措置が設けられています。十月一日以降の仕入取引について、登録事業者である登録番号のない場合は、課税仕入の課税区分が異なりますので十分に注意する必要があります。結果として、仕訳作業が複雑になります。

IV おわりに

前述したとおり、様々な景気不安の要素が生じています。しかし、日本あるいは地元飛騨では、平和で安全な生活が出来る有難さを改めて感じた方が多いと思います。コロナ禍はそのうちに終息すると思いますし、円安で外国人観光客が増えて地元の景気も徐々に回復する兆しもあります。

平穩無事な事を感謝しつつ、日頃の企業活動を地道に続ける事こそ大切だと思います。

末筆ながら、顧問先企業皆様方の更なるご発展とご健康を祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。